



栃木県立宇都宮高等学校

通信制課程



所在地 〒320-0846 宇都宮市滝の原3丁目5番70号
 電話 028-633-1427
 F A X 028-637-0026
 U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/utsunomiya/nct2/>
 創立 昭和23年
 課程 通信制課程
 設置学科 普通科
 生徒数 567名(男子318名 女子249名)(令和3年5月1日現在)
 利用交通機関 JR日光線鶴田駅から徒歩10分
 東武宇都宮線南宇都宮駅から徒歩15分

I 学校の概要

(1) 学校沿革

昭和23年 4月 宇都宮高等学校に通信教育部を開設し、生徒募集を開始する。入学者は124名。同時に通信制章を制定する。

昭和29年 4月 栃木県立足利女子高等学校通信教育部を本校に統合し、生徒は738名となる。

昭和37年10月 学校教育法の改正により、通信教育部が通信制課程となる。

昭和62年 3月 通信制新校舎竣工。

平成 7年 4月 定時制課程から併修生の受け入れを開始。

平成10年11月 通信制課程開設50周年記念行事が挙行される。

平成21年 3月 卒業生総数が5,000名を超える。 ※ 令和3年3月現在卒業生 6,352名

平成30年10月 通信制課程開設70周年記念行事が挙行される。

(2) 学校の環境・施設等の特徴

11万㎡を超える広大な敷地に恵まれた校庭の間をJR日光線が走っています。校内には数千本にも及ぶ樹木が育ち、宇高の森を象徴する杉木立、校庭を縁取る桜、ポプラや鈴掛の木など、初夏の新緑に秋の紅葉と四季折々の美しさを見せてくれます。日光線の北側に第1グラウンド、南側に第2グラウンドがあります。また、赤煉瓦の色鮮やかな全日校舎や、旧本館である白亜の滝の原会館、歴史を感じさせる講堂などとともに、多くの木立に囲まれた落ち着いた雰囲気の中に通信制課程校舎があります。



II 学校、学科、教育課程等の特色

本校は、勤労青少年に高校教育の就学の機会を与える目的で昭和23年に発足しました。現在は、向学の志があれば、就業の有無・年齢にかかわらず教育を受けることができます。自学自習を基本に「通信」を手段とした単位制による通信制課程（普通科）の県立高等学校として注目を集めています。

様々な理由で毎日登校ができない人、働きながら学んで高等学校を卒業したい人、自分のペースで理解を深めたい人のための学校です。自学自習が基本で、学習の整理と演習のためのレポートは自宅で作成します。週1回登校し、授業形式のスクーリング（面接指導）を受けます。

卒業するためには、3年以上在籍することが必要で、74単位以上の単位を修得し、必修科目はすべて単位修得もしくは履修する必要があります。また、特別活動に関しても、年間10単位時間以上出席し、卒業までに30単位時間以上の出席が必要です。

Ⅲ 進路状況

令和3年3月卒業生の進路状況と主な合格実績

4年制大学11名、短期大学3名、専門学校15名、就職（新規）10名（卒業生数103名）

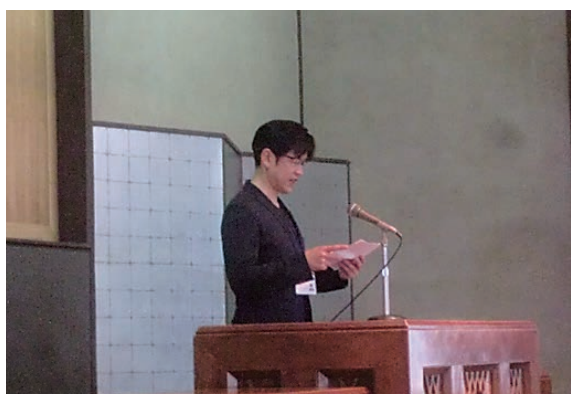
主な合格実績

文教大学、フェリス女学院大学、国際医療福祉大学、東海大学、文星芸術大学、駿河台大学、新潟工科大学、山形県立米沢女子短期大学、作新学院大学女子短期大学部、栃木県立県央産業技術専門校、TBC学院(国際テクニカル調理製菓・国際看護介護保育・国際ペット総合各専門学校)、早稲田医学院歯科衛生士専門学校、上都賀医師会附属准看護学校、東京鐵鋼、たいらや、栃木イエローハット等

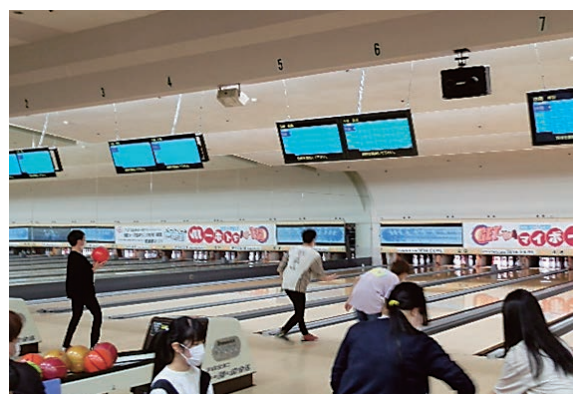
Ⅳ 特別活動等の紹介（学校行事、生徒会活動、部活動等）

特別活動は、個人として、また集団や社会の一員としての人間の在り方・生き方についての自覚を深め、現在および将来において自己を正しく活かす能力を養うために、受講科目の学習とともに並行して行われる集団的教育活動です。

クラブ活動は文化的クラブが6つ、体育的クラブが8つあります。文化的クラブでは宇高祭参加、県定時制通信制文化発表会への出展、体育的クラブでは県高等学校定時制通信制総合体育大会へ参加することもできます。



生活体験発表会
発表者と聴衆ともに、貴重な時間が過ごせます。



火曜レクリエーション
火曜生対象のボウリング大会です。



体験学習（和菓子作り）
令和2年度は、和菓子作り・落款印作り体験を行いました。



宇高祭（文化発表会）
令和2年度は、作品展示の校内発表となりました。



県定時制通信制秋季体育大会
陸上・卓球・ソフトテニスで出場し、いずれも優勝や上位入賞を果たしています。



修学旅行
令和元年度には、東京・横浜方面1泊2日で実施しました。